

## ■ PostgreSQL セットアップ手順書

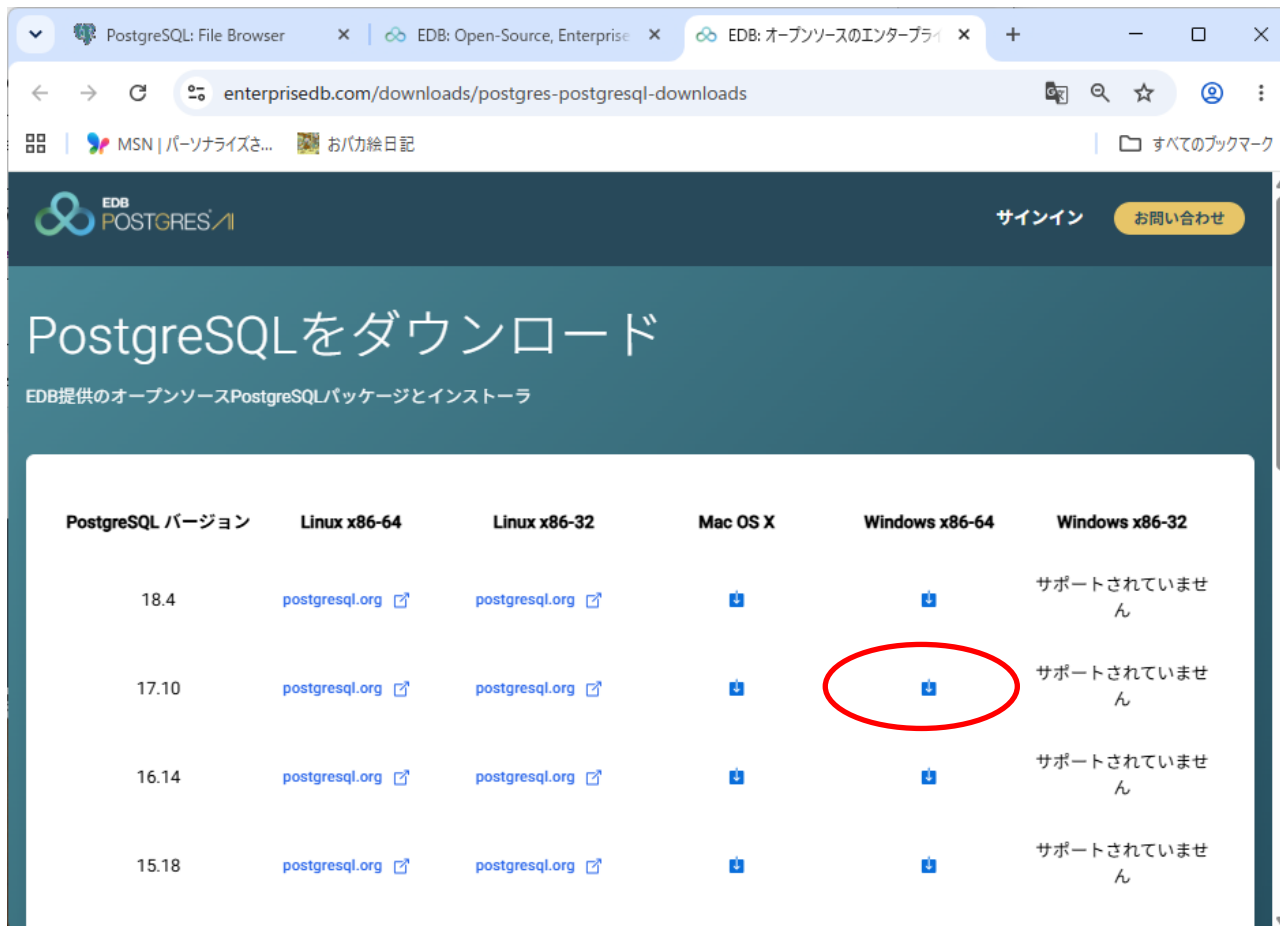
本アプリケーションで使用するサーバー側の PostgreSQL のインストール手順とクライアント側の ODBC ドライバの設定手順です。

### □ サーバー側設定

1. 以下の URL 等を参考に PostgreSQL のインストーラーをダウンロードしてください。

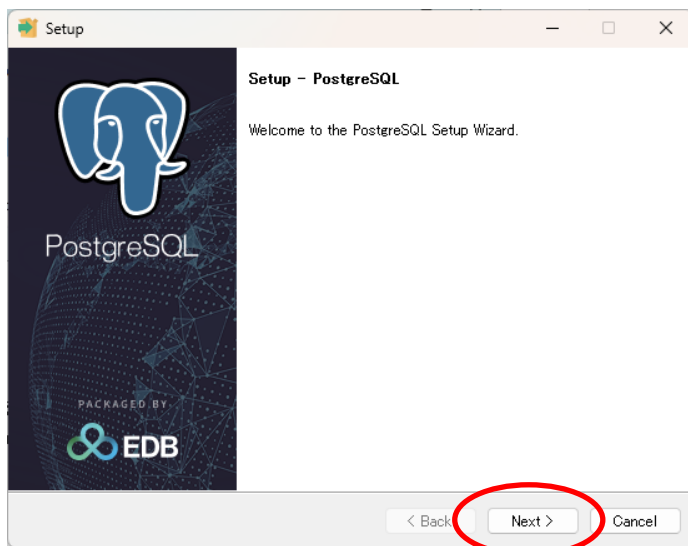
<https://www.enterprisedb.com/downloads/postgres-postgresql-downloads>

今回はバージョン「17.10」の「Windows x86-64」としました。



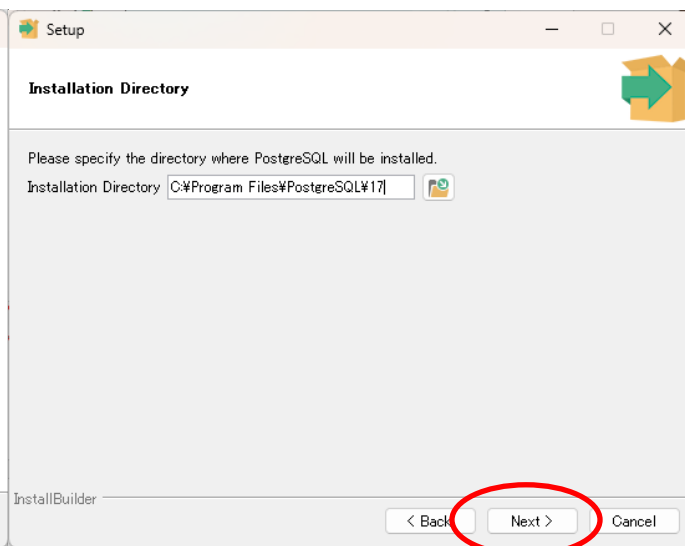
2. ダウンロードした「postgresql-17.10-2-windows-x64.exe」を実行します。

「Next」 クリック

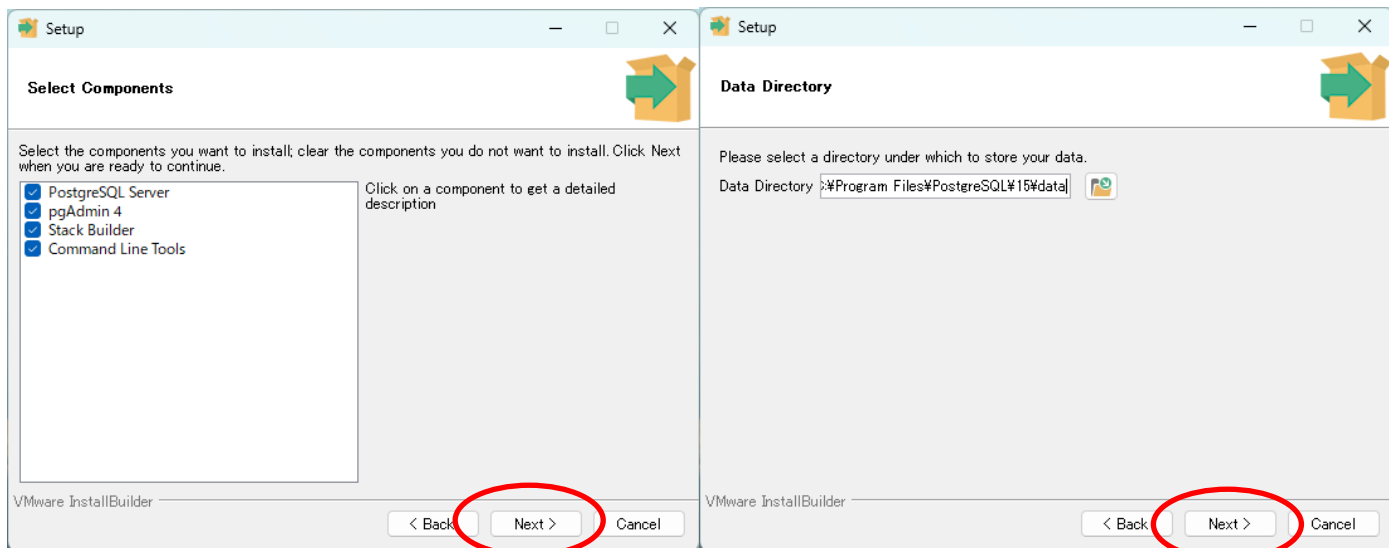


「Next」 クリック

「Next」 クリック



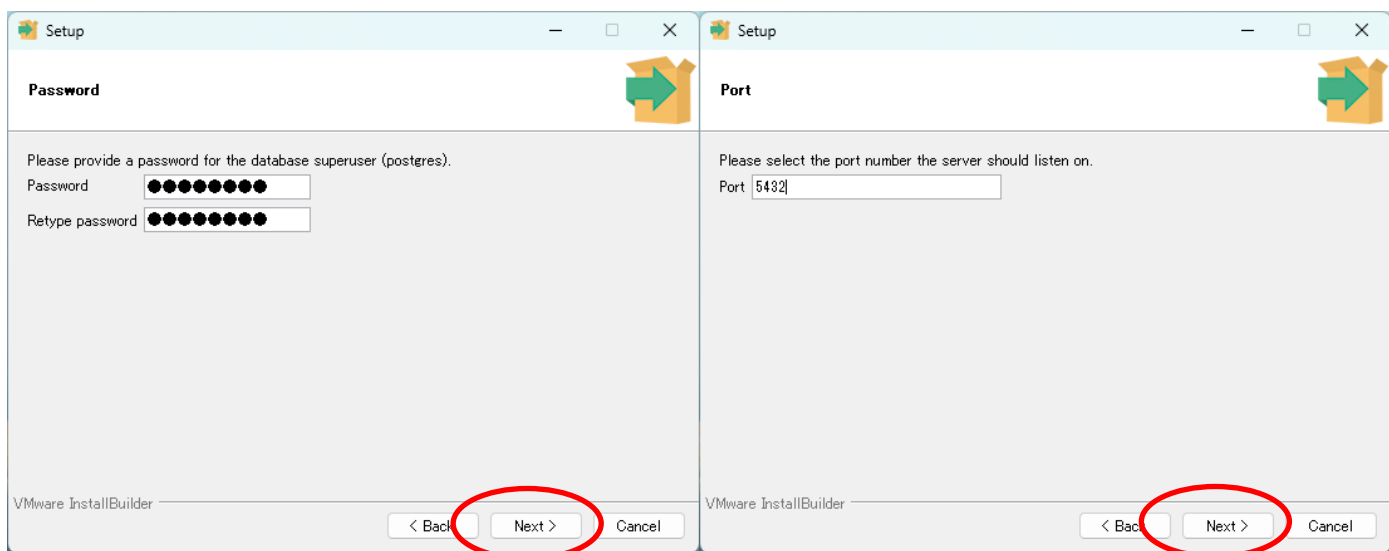
「Next」 クリック



Password に任意のパスワードを入力します ※ 1

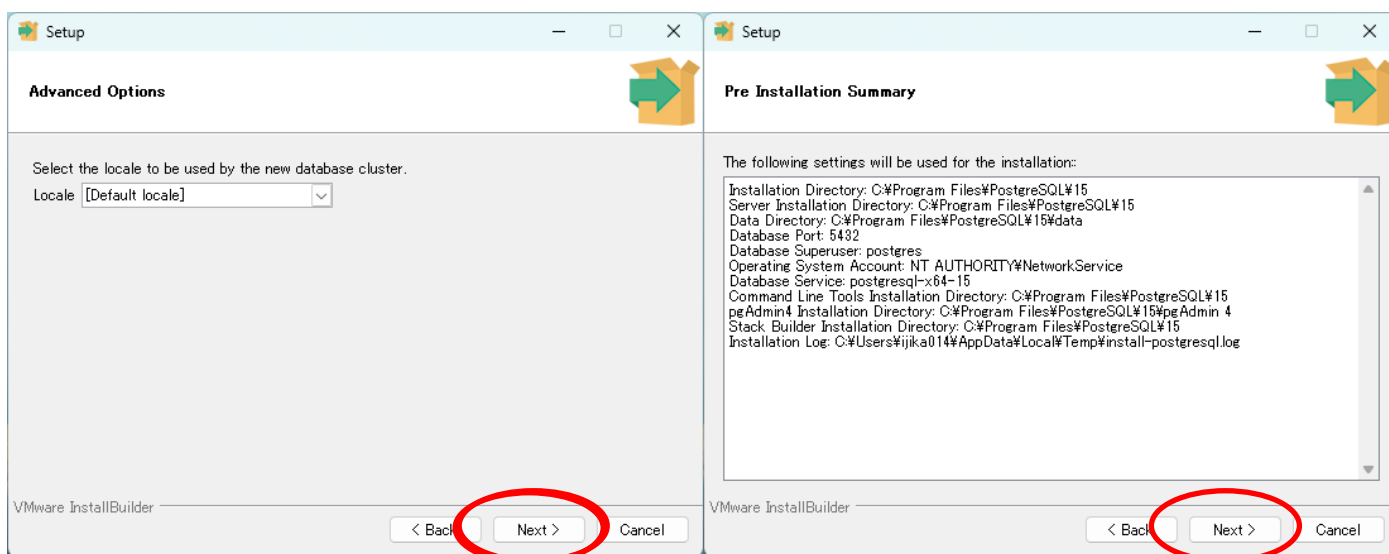
パスワードは忘れないようにご注意ください

Port に「5432」を入力します

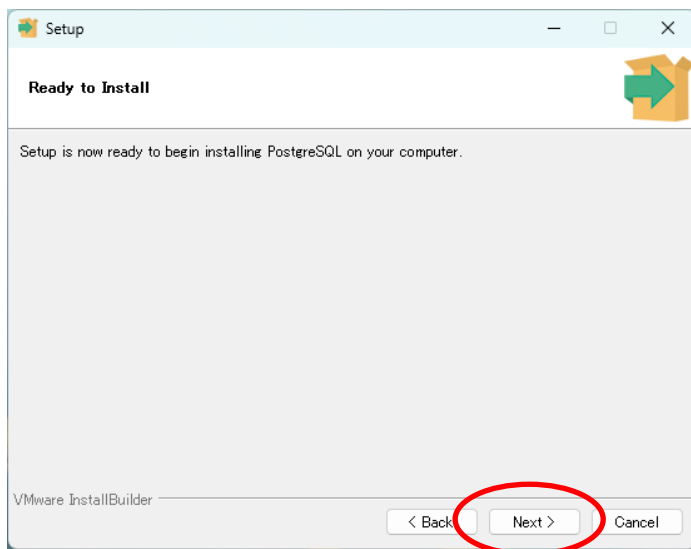


「Next」 クリック

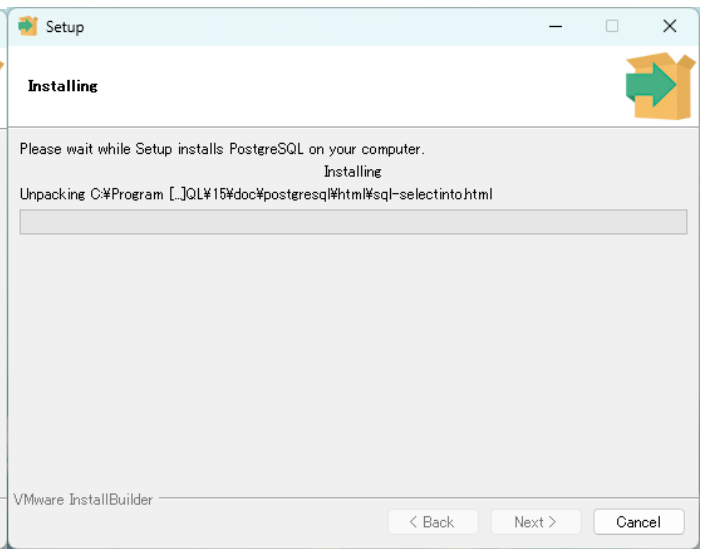
「Next」 クリック



「Next」 クリック



「Next」 クリック



※↑インストールにはしばらく時間がかかります

「Stack Builder …」のチェックを外して「Finish」クリック



これでインストールは終了です。

### 3. サーバー設定ファイル修正

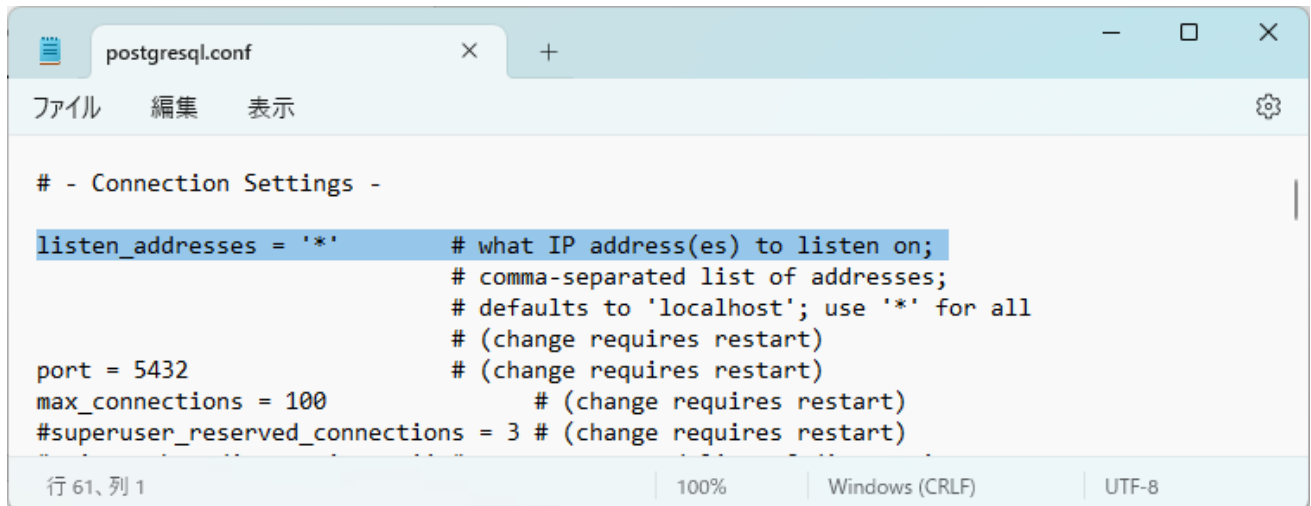
- ・「Postgresql.conf」をメモ帳などのエディタで開きます。

デフォルトでインストールしていれば C:\Program Files\PostgreSQL\XX\data 内にあります。

※XX 部分はインストールしたバージョンによって違います。今回の例ですと 17 になります。

- ・listen\_addresses 部分変更

# listen_addresses = 'localhost'	変更前 既に'*'となっており変更不要の場合もあります
listen_addresses = '*'	変更後



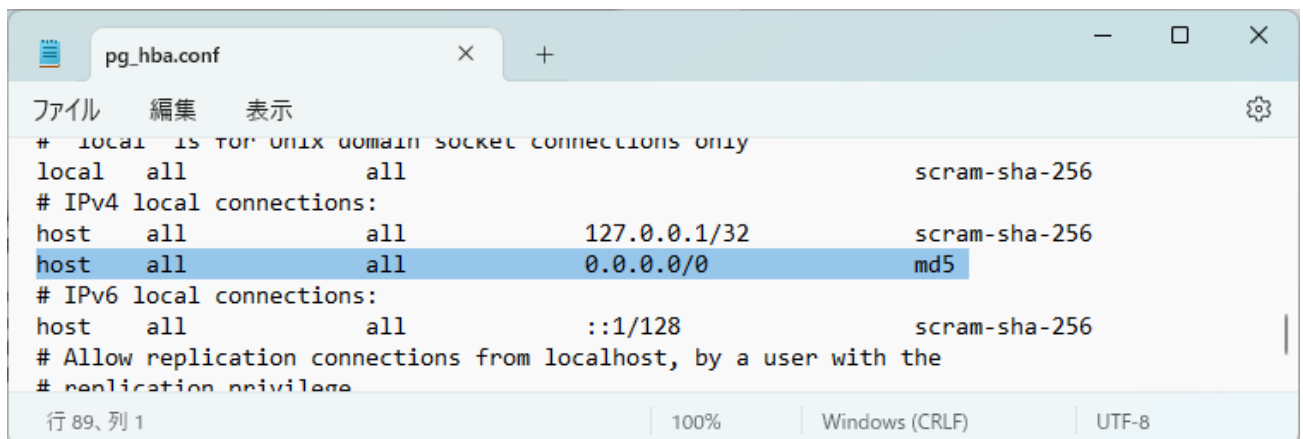
```
# - Connection Settings -  
  
listen_addresses = '*' # what IP address(es) to listen on;  
                        # comma-separated list of addresses;  
                        # defaults to 'localhost'; use '*' for all  
                        # (change requires restart)  
port = 5432            # (change requires restart)  
max_connections = 100  # (change requires restart)  
#superuser_reserved_connections = 3 # (change requires restart)
```

変更したら上書き保存します。

- ・「pg\_hba.conf」をメモ帳などのエディタで開きます。

「# IPv4 local connections:」の行の下に

「host all all 0.0.0.0/0 md5」の行を追加します。



```
# local is for unix domain socket connections only  
local all all scram-sha-256  
# IPv4 local connections:  
host all all 127.0.0.1/32 scram-sha-256  
host all all 0.0.0.0/0 md5  
# IPv6 local connections:  
host all all ::1/128 scram-sha-256  
# Allow replication connections from localhost, by a user with the  
# replication privilege
```

追加したら上書き保存します。

※今回は接続優先で設定していますが、本来は 0.0.0.0/0 ではなく制限をかけることを推奨しています。

上記作業が終了したら PostgreSQL をインストールしたサーバー(またはパソコン)を再起動してください。

※上記ではサーバーのファイアウォールのポート解放は行っておりません。

必要に応じてファイアウォール詳細設定の受信の規則にポート「5432」を開放する設定を追加してください。

□ クライアント側設定

1. 以下の URL 等を参考に ODBC ドライバをダウンロードしてください。

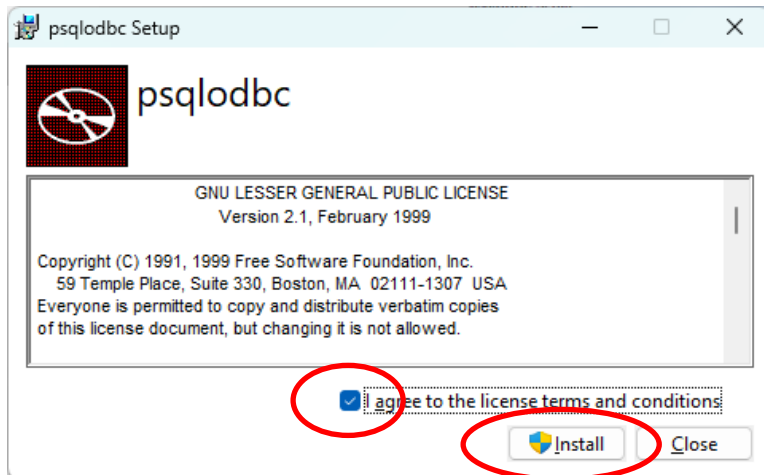
<https://www.postgresql.org/ftp/odbc/releases/>

クライアントの OS やインストールした PostgreSQL のバージョンにより最適なものをダウンロードしてください。

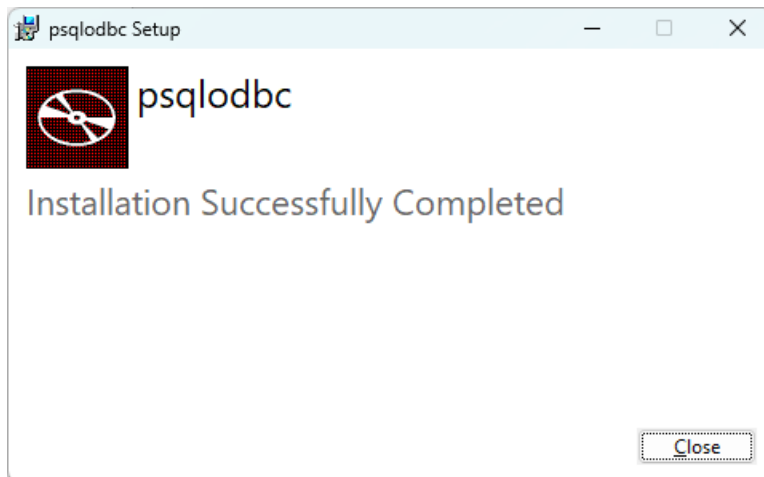
今回は REL-17\_00\_0010-mimalloc 内の「[psqlodbc-setup.exe](#)」をダウンロードしました。

2. ダウンロード後、クライアント側パソコンでインストーラー（今回の例では「psqlodbc-setup.exe」）を実行します。「Windows によって PC が保護されました」が表示された場合は「詳細情報」をクリックし「実行」してください。

「I agree to…」チェックボックスにチェックし「Install」をクリック



インストールが行われますので「Close」をクリックして終了します



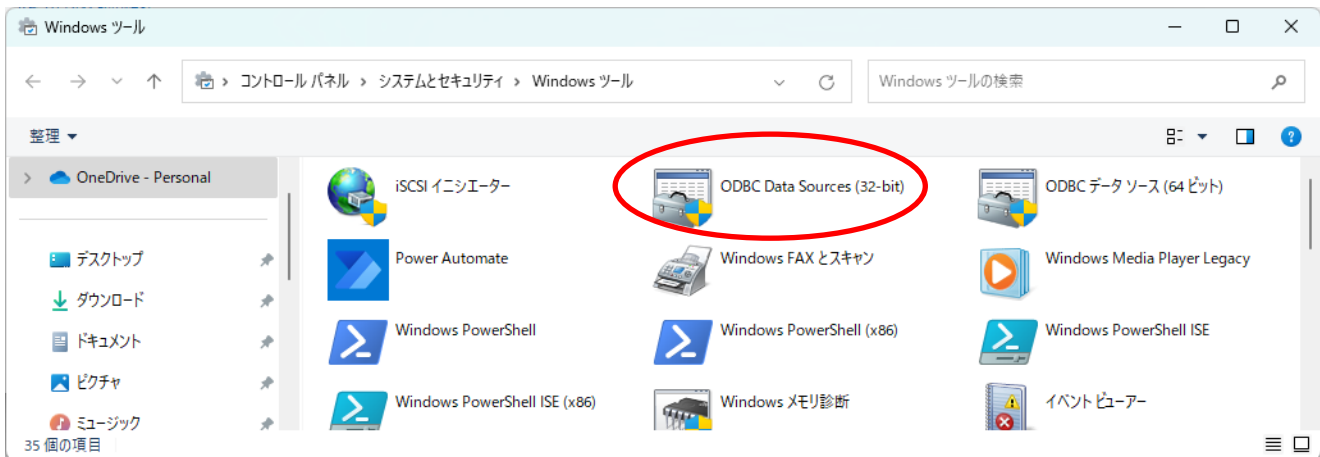
「Finish」クリック

これで ODBC ドライバがインストールされました。

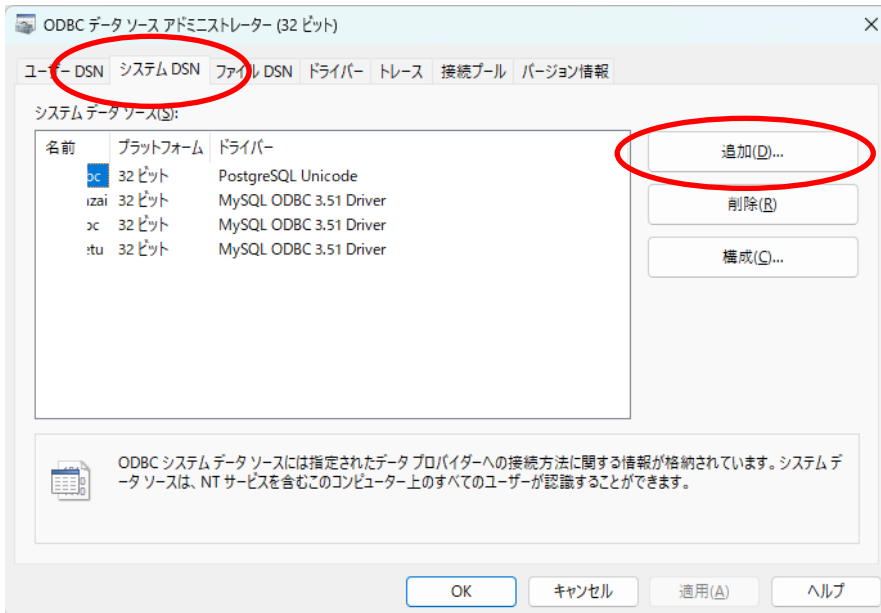
2. コントロール パネル→システムとセキュリティ→Windows ツール内にある

「データソース (ODBC Data Sources(32-bit))」を開きます。

※上記はスターボタンをクリックして ODBC で検索しても結構です



「システム DSN」タブを開き「追加」ボタンをクリックします。



「PostgreSQL Unicode」を選択し「完了」クリック



PostgreSQL Unicode ODBC セットアップ

データソース名: (N) ionodbc

説明: (D)

SSL Mode: (L) 無効

サーバー名: (S) 192.168.XX.XX

データベース名: (b) postgres

Port: 5432

既定の認証

ユーザー名: (U) postgres

パスワード: (w)

オプション (高度な設定)

データソース

全体設定

管理

テスト

保存

キャンセル

PostgreSQL Ver7.3 Copyright (C) 1998-2006; Insight Distribution Systems  
In the original form, Japanese patch Hiroshi-saito

データソース 「ionodbc」

サーバー名 サーバーの IP アドレス

データベース名 「postgres」

ユーザー名 「postgres」

パスワード サーバー設定時に※1 で設定したパスワード

上記入力後「テスト」ボタンをクリックして接続できるかテストを行います。  
正常に接続できたら「保存」ボタンで保存して終了します。  
これでクライアント側 ODBC 設定は終了です。

以 上